

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

個07事11

政策名	1 グローバルロジスティクスの港		24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港営部 誘致推進課長
基本施策名	01 国際・国内海上輸送機能の強化						
個別施策名	07 ポートマーケティング機能を強化する		事務事業	成果	コスト	連絡先 連携課	052-654-7835 企画担当
事務事業名	11 国内ポートマーケティング・ポートセールスの実施		継続	拡大	維持	事業 期間	昭和58年度～継続
目的	有益な情報を収集し、効果的なビジネスチャンスを得ることにより、名古屋港の貿易拡大を図ります。					事業 期間	昭和58年度～継続
概要	企業訪問、名古屋港説明会、名古屋港利用者懇談会等を開催し、各企業の貿易情報、利用港の把握をするとともに、名古屋港のセールスを行います。					根拠 法令等	
						実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
平成25年度の 実施予定	荷主、船会社、商社等を対象とした名古屋港利用者懇談会を開催すると共に、長野県を対象に企業訪問及び名古屋港説明会を実施します。また、成果拡大に向け、新たに名古屋港の背後圏域で懇談会の開催を予定しているほか、貨物集荷と企業誘致を一元的に行っていく体制を確立し、新たに県内外の企業立地担当者などとの連携を図っていきます。					関連 シート	個07事04「企業訪問の推進」、 個07事05「名古屋港説明会の 開催」、個07事06「名古屋港利 用者懇談会の開催」をこの事務 事業に整理統合しました。

2 DO(実施)

平成25年度に 実施した 内容・結果	名古屋港利用者懇談会を開催すると共に、長野県を対象に企業訪問及び名古屋港説明会を実施しました。また、新たに近隣背後圏域である浜松市で懇談会を開催したほか、県外の企業立地担当者を訪問し、名古屋港のPRを行いました。							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績)	合計	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	3,577	3,104	4,347	3,823	5,121	19,972	(款項目節) 名古屋港利用促進協議会を中心に支 出。その他、企業誘致担当分の歳出：港 営費/港営管理費/振興費/港湾振興費/ 旅費 (算出計算式) 名古屋港利用促進協議会から支出される 事業は、事業費総計額を同協議会におけ る本組合の負担割合で按分したものを本 組合の負担分(一般会計)として計上して います。 (その他)
一般会計	千円	3,577	3,104	4,347	3,823	5,121	19,972	
事業会計	千円							
その他	千円							
人員費 計	千円	27,205	26,885	27,325	27,630	32,675	141,720	
正規職員	人	3.17	3.17	3.17	3.17	3.73		
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
合計	千円	30,782	29,989	31,672	31,453	37,796	161,692	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	中間目標	25	備考(指標の算定方法など)
企業訪問、説明会、 懇談会の合計開催 回数(回)	目標	-	3	3	3	4		4	
	実績	3	3	3	3	4			
	達成率(単年度%)	-	100.0	100.0	100.0	100.0			
企業訪問数、説明会 参加企業数、懇談会 参加者数の合計 (人)	目標	-	440	440	440	680		680	目標を上回る実績が続いている ため、平成25年度は過去3年分 を平均し、目標としました。
	実績	577	620	708	716	820			
	達成率(単年度%)	-	140.9	160.9	162.7	120.6			
達成率(累計%)	-	-	-	-	-	-			
平成25年度までを総括した 必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)						その他特記事項	
必 要 性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>						現政策体系の5年間に於いて、参加者数は増加しており、高いニーズがあり、名古屋港のPRに必要な事業です。また、名古屋港の港湾管理者として、公の立場から本組合が事業を推進していく必要があります。	
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
有 効 性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>						名古屋港の利用者・見込者を対象に実施し、港を売り込むことに貢献しており、現政策体系の5年間に於いて、開催回数、参加者数ともに目標を達成しています。また、港湾関係者の出席・協力のもと実施することで、参加者に対して説得力あるPR事業となっています。	
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
効 率 性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>						現政策体系の5年間に於いて、関係団体との共催のもとに、最小限の必要費用で実施しています。名古屋港利用促進協議会からの負担もあり、適切な受益者負担がされています。	
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による 今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続 ・ 統合	➡	➡	・引き続き、船会社や荷主、商社等に名古屋港のPR等を行い、名古屋港利用率の向上を目指す必要があるため。 ・ポートセールスの実施に係る事業として統合。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				

引き続き、船会社や荷主、商社等に名古屋港のPR等を行い、名古屋港利用率の向上を目指します。平成25年度新たに近隣背後圏域(浜松市)で開催した懇談会についても継続して実施するものです。